



vol. 61

令和6年(2024年)3月28日

発行 里親だより編集委員会

※本年度、里親だより編集委員会は、
松本児童相談所が担当しました。

執筆者の皆様へ、今回は
『幸せを感じる時は?』をうかがいました!
最後のコメントもお見逃しなく!!

1 里親フォーラムを終えて

諏訪児童相談所 片倉 宜子

休みの日に家族が淹れ

てくれたコーヒーを

ゆっくり飲むとき



3月2日土曜日に伊那市防災コミュニティセンターにおいて「里親フォーラム～考えよう 子どものこと～」を開催しました。

フォーラムのゲストに社会的養護出身で YouTube で情報発信をしている THREE FLAGS のライトさん、まこさん、プロさんの3人をお招きし、基調講演と諏訪・上伊那地区里親会城村会長と3人の対談を行いました。里親さん、児童福祉関係者の他、民間団体の方や一般県民など45名の方にご参加いただきました。

フォーラム冒頭で「どんな質問にも“NGなし”で答えます」とTHREE FLAGSの皆さんに言っていただき、ご自身の生き立ちや家族との関係、それをどのように受けとめ整理されてきたのかなど、当事者からしかお聞きできない“深い部分”をお聞きしました。THREE FLAGSの皆さんは明るく前向きな印象を受けますが、生き立ちの中では参加者の想像できないような厳しい経験をされていました。一方で、学校の先生や地域の他の保護者、施設の職員に支えられたエピソードも数多くありました。

このフォーラムを通して、そのときそのときに出会う大人が子どもに関わり向き合うことで子どもの未来が変わっていくこと、それぞれの立場で自分にできることを考えるきっかけになったと思います。

運営に御協力いただいたスタッフの皆様、対談をより深いものに導いてくださった城村様、お忙しい中ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

最後に参加者の皆さんの感想をご紹介します。終わりたいと思います。



THREEFLAGSさんのロゴと
YouTubeQRコードです。
チャンネル登録お願いします!

○社会的養護の当事者から、話を聞く機会をいただきありがとうございました。外からの児童養護、里親制度など見聞きしてありますが、心のうちや現在の心境など当事者目線からの思い聞けたことや、地域での関わりが大切なんだとあらためて感じました。

○当事者の声、子ども自身の声、気持ちを少しでも感じることが出来、もっともっと子どもたちが何をどう感じているのかに耳を心を寄せて行こうと思いました。

○私も50年間、教育関係の仕事で暮らしてきてここでノンビリという気持ちでしたが、もう少しがんばらなきゃダメなのかな、という気持ちになりました。

○受けた悲しみは半分に。受けた愛を何倍にも！これを実践している大人だなーと。強く愛でみちているなあと思いました。本当にかっこいい！🌸

○プロさんの「できない理由よりできる理由を一緒に考えてほしかった」という言葉が心に残りました。



2 「ライフストーリーワーク研修

(飯田兎相)に参加して」 石原 美和子



さけることが出来ない真実告知。厳しい事実を里子が受け入れることが出来るだろうか？里子が深く傷つかないだろうか？我が家にきてようやく落ち着いたのにまた不安定にならないだろうか？私達夫婦は悩んでいました。

そんな時に登録里親研修（ライフストーリーワーク）があることを知り受講。

当たり前のことですが、里子には知る権利があること。思春期以降に事実を知った場合、嘘をつかれていたというショックや何故教えてくれなかったのかという怒りの感情が出てくること。幼く、信頼関係がお互いに出来ている時こそ告知のタイミングであること。里子が自分のことを知るにより自尊心は養われ、地に足をつけ、自分の人生を自分のものにでき、未来に進むことが出来ること。悩んでいたことが馬鹿らしくなり、この講座を受講したことから勇気が湧き、早々に我が家も真実告知を行いました。

真実告知は、私有家系図を書きながら説明をし、里子が自分で選んだシールを登場人物にはる形で行いました。里子のことを可愛がっている里親の親族を含め、我が家の関係を先に説明し、安心感があるなかで簡単な実親の家系図をもちいて話をしました。その後我が家にきた経緯。里子が悪いわけではないことを伝えました。

大粒の涙を流して泣き、その夜は少し不安定になり試し行動あり。次の日の夜、シールをはるのが楽しかったのか「今日も昨日の続きのお勉強をする」というので、今度は里子に保育園のお友達の名前をあげさせてシールをはっていかせました。沢山お友達がいること、一人ではないことを実感したのか、この日の夜の試し行動は少なく、次の日から通常の日常に戻っていました。

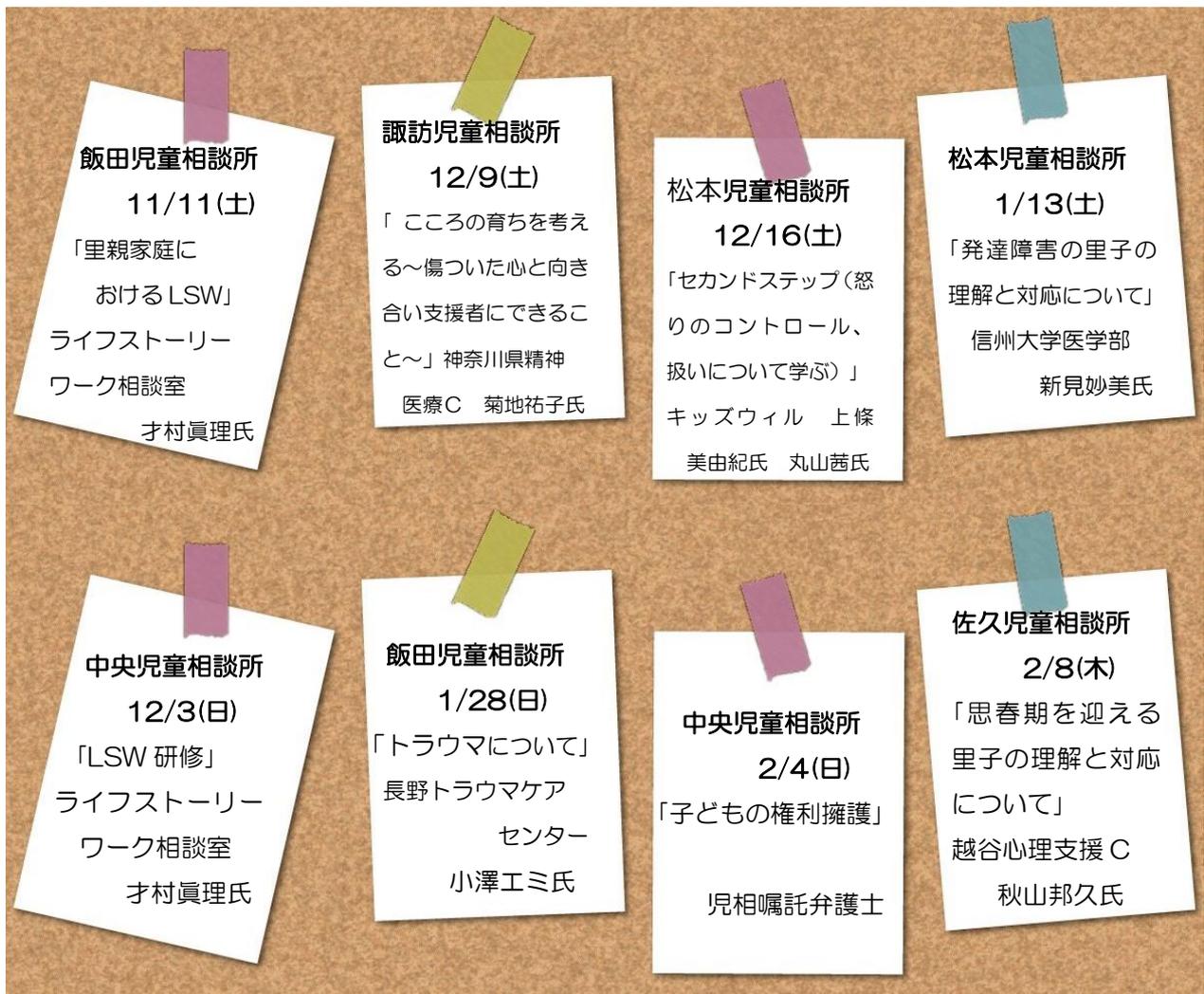
里子は今年小学生にあがります。理解力はまだ低い為、どこかでもう一度説明をする機会を作ろうと考えています。

～すべての子ども達が幸せな人生をおくれますように。



3 「登録里親研修」が各児童相談所で開催されました！

オンラインでの研修には、エリアを超えて大勢の里親さんにご参加いただきました。



飯田児童相談所 小牧

周りの人が笑っている時

11月11日に、里子には自身のルーツや生い立ちを知る権利がある中で、実親と離れ里親家庭で過ごす中で、日常生活の中で里子から実親のことや自身の生い立ちに関する質問をされた時などに、どのように応えればよいのか悩まれる里親さんも多いかと思えます。

今回は里子自身の生い立ちや家族との関係を整理する「ライフストーリーワーク」の研究をされている才村真理先生より、ライフストーリーワークの理論や里親家庭での実践方法を学ぶ研修会を企画しました。

中央児童相談所 石田

はちみつ紅茶を飲んでいる時

12月3日に、大阪でライフストーリーワーク（以下Life Story Work=LSWとする）相談室を開設している才村真理先生を講師としてお招きし、LSWをテーマとした研修会を開催しました。研修の中では、LSWの概要から児童相談所と実施するセッション型のLSWについて実践例を交えてお話

いただきました。里親の皆様からは「具体的な進め方が分かった」「子どもの過去が辛かったかどうかを大人が勝手に判断しないこと。子どもが、過去と向き合う中で一緒に向き合ってくれる大人がいると認識してもらうことが大切だと再認識した」との感想をいただきました。

また、2月4日には子どもの権利擁護をテーマとした研修会を開催しました。研修は児童相談所嘱託弁護士を講師とした養育里親向けの「子どもの権利擁護」の映像資料を視聴した後にグループワークにて日頃の養育の振り返りを行いました。参加者からは「子どもの権利を考える良い機会になった」「繰り返し学びたい内容」等の感想が聞かれました。

松本児童相談所 深井

沢山寝る時間が取れたとき

12月16日に、NPO 法人キッズ・ウィルの上條美由紀氏、丸山茜氏をお招きし、「セカンドステップ（怒りのコントロール、扱いについて学ぶ）」を研修として実施しました。

小学生向けのセカンドステップでしたが、大人も自分自身の怒りについて考えることができたと思います。参加した里親さんからは、「更に具体的な方法を学びたい」とか、「もう一つ位テーマがあれば」と言った声があり、研修への更なる意欲も窺えました。

1月13日には、信州大学医学部子どものこころの発達医学教室の新美妙美先生をお迎えし、「発達障害の理解と自宅できる具体的な支援」というテーマで研修を実施しました。

里親さんに委託している子どもの中には、発達障害と診断されたり、診断はされていないけれど似たような特性を持っていたりする子どもが多いと思い、具体的な支援方法を学ぶ機会を設けました。

先生からは、発達障害の子が実際に困っていることを提示してもらい、それに対する具体的な対応方法として、先生自身も使用しているというツールを沢山紹介してもらいました。

具体的な方法を紹介してもらったことで、参加した里親さんからも参考になったという声を多数いただきました。



松本里親啓発イベント
2/17 アイシティ21に
アルクマが駆けつけて
くれました!!!

佐久児童相談所 島田

夜ベッドに入るとき

2月8日に越谷心理支援センターの秋山邦久先生をお招きし、「思春期を迎える里子の理解と対応について」というテーマで研修を行いました。午前は基礎編、午後は実践編ということで、具体的な対応方法について、里親さんから質問を挙げていただき、それについて先生からご助言をいただきました。

研修では、あらためて子どもの見立ての大切さを教えていただき、子どもが何かにつまずいているときには、「もしかしたら誤学習しているのかもしれない」「まだ未学習なのかもしれない」という視点を持って対応していきたいと感じました。

参加いただいた里親の皆さんからはご好評をいただき、是非来年も同じ講師の先生を呼んでほしいとの声もいただきました。もし講師の先生と調整ができれば、来年度も秋山先生をお呼びしたいと考えております。

4 高校卒業にあたって

この春、高校を卒業された里子さんを代表して、これまでのこと、これからのこと、後輩の里子さんへのメッセージをいただきました。



♡ ゆーか さん

Q.卒業後の進路は？

東海大学 児童教育学部

Q.それを決めた理由を教えてください

内部進学でいく事ができる

Q.これをやっておいてよかった、と思うことは？

英語技能検定

Q.これをやれば良かった、と思うことは？

数学の勉強

幸せを感じる時は？
一人で出来る
ことが増えた時

Q.後輩たちへのメッセージをお願いします。

少しでも多くのことを経験して、自分の力にすることを大切にしてほしいです。

絵本の紹介

「ようこそ こどものけんりのほん」

えがしらみちこ/絵

子どもの権利・きもちプロジェクト/文（白泉社）

おいしいものを
食べている
とき

松本赤十字乳児院 里親支援専門相談員
絵本専門士 鎌倉 美枝

私たちはどうすれば、「子どもの権利」を守っていることになるのでしょうか。

「子どもの権利」を考えるとき、まずはその概念を理解することが大切だと考えます。

「子どもの権利条約」四つの一般原則、「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「子どもの意見の尊重」「差別の禁止」は、全ての権利を守るとき的前提となるものです。

これを踏まえて子どもと関われば、子どもの権利は大抵守られていることが多いと思いますが、私が最も大切にしていることは、「子どもの意見の尊重」です。例えば、乳児院のように意見を声にできない乳幼児はなぜ泣いているのか、なぜご機嫌が悪いのかを考え受けとめながら、その子にとって最も良いことを行うようにしています。しかし、これにはちょっと注意が必要で、私たち大人が勝手に考える子どもにとって良いことは、子どもの最善の利益ではないことがあります。

今回紹介する絵本『こどものけんりのほん』は雑誌『kodomo コドモエ』（2023年2月号、白泉社）の付録絵本『ちいさなこどもの権利』に加筆修正して単行本化されたものです。子どもを、ひとりの人間として尊重する里親の皆さんに、是非読んでいただきたい子どもの声が詰まった一冊です。



6 里親委託費請求書処理の現場から

中央児童相談所 家庭養育推進係
里親委託費事務担当 竹内



毎月の里親委託費請求の提出期限日にご協力いただき、ありがとうございます。
年度末のため、今後の連絡事項をお知らせいたします。

1 3月分里親委託費請求書等の提出に関するお願い

- 提出期限：令和6年4月10日（水）必着
- 令和5年4月～令和6年3月末までに支払いの領収書、未提出のものがありましたら、請求漏れがないようご提出をお願いします。
※令和6年3月中にかかった給食費や交通費について、施設から4月に届く予定の領収書は早目に請求し、3月分で提出してください。新年度4月分での請求はできません。

2 令和5年度分差額請求について

- 令和5年度中に里子の受託をされていた方が対象となります。差額分請求書・計算書（里子1名につき1枚）を配付します。
- 提出期限日については、配付の通知にてご確認ください。

3 新年度用の里親委託費請求書及び計算書の配付について

令和6年4月分からの請求でご提出いただく、請求書及び計算書は各フォスタリング機関から配付の予定です。

※新年度用の請求書・計算書の配付時期については、各フォスタリング機関にお問い合わせください。

4月に入学される児童さんについて

以下の入進学支度費等の対象となりますので、4月分請求書（5月10日必着）に併せて必要書類の提出をお願いします。

※必要書類：入学証明書または在学証明書（入学決定通知書は証明になりません）

① 入進学支度金（小学校、中学校入学の方）

→ 小学校：64,300円（定額）、中学校：81,000円（定額）

② 教育費 入学時特別加算費（特別支援学校高等部入学の方）

→ 86,300円（定額）

※①及び②に該当の方は、入学に必要な教材代の対象とならない学用品（運動着、給食着、上履き等）や制服の購入費用に充ててください。

③ 特別育成費 入学時特別加算費（高等学校入学の方）

→ 86,300円（この金額を上限とし、入学に必要な入学金・授業料や学用品等の実費を合算）※上限額があるため、ご不明な点は各フォスタリング機関にご相談ください。

最後に・・・

『幸せを感じる時は～』

～執筆者の皆さんからコメントをいただきました～

こんな歌詞がぴったり！

♪もしかして幸せは訪れるものでも待ってるものでもなくて

今ここにあることに気がつくものなんじゃないかな？

誰かにとって「たかがそれくらい」のありふれた

喜びでも 嬉しいと思えたら 特別じゃない

今日はもうきっと美しい

美しい日なんだよなあ♪

諏訪児童相談所 片倉さん

『休みの日に家族が淹れてくれたコーヒーをゆっくり飲むとき』

石原さん 『自分の時間が少しでも出来た時』家事、仕事、育児に追われている為。

飯田児童相談所 小牧さん 『周りの人が笑っている時』周りの人が笑顔でいてくれると自分も笑顔になれるので！

中央児童相談所 石田さん 『はちみつ紅茶を飲んでいる時』最近美味しいはちみつ紅茶に巡り合いました！朝起きて寒い中で温かいはちみつ紅茶をゆっくりと飲む時間に幸せを感じます。

松本児童相談所 深井さん 『沢山寝る時間が取れたとき』寝ることが大好きなので、時間が取れると幸せに感じます。

佐久児童相談所 島田さん 『夜ベッドに入るとき』日中はいつもバタバタなので、ベッドに入るとほっとします。ちなみに5秒で寝付けます。

ゆうかさん 『一人で出来ることが増えた時』一人で出来るか不安だったことが出来ると、自信もつくし大人になった気がするから。

赤十字乳児院 鎌倉さん 『おいしいものを食べているとき』家族や友人と一緒に、おいしいものを食べているときは笑顔になりますね。

中央児童相談所 竹内さん 『温泉にまったりつかるとき』冬は時間のある週末に、愛犬を連れて日帰り温泉へ。心身温まり、肌もつるつる。体も軽くなって調子が整います。

☆「里親だより」は長野県公式ホームページでも御覧になれます。
(トップページからキーワード検索で「長野県里親だより」⇒右記QRコードもご利用下さい)

【URL】 <https://www.pref.nagano.lg.jp/chuoijido/satooyatayori.html>

発行：長野県里親だより編集委員会

〒390-1401 松本市波田 9986 松本児童相談所内

TEL:0263-91-3370 FAX:0263-92-1550

